



天竜川和船文化保存会

受け継ぐ伝統! 繋げる未来へ

天竜川和船文化保存会は、平成28年に飯田市民俗文化財に指定された天竜舟下り・天龍ライン遊舟が、伝統的な造船技術、操船技術を後世につなげていくために関係機関とともに発足しました。全国的にも少ない和船づくりの技術を後世に伝承していくため、2艘の船の製作を通じて伝承事業を始めました。アメリカ人船大工ダグラス・ブルックス氏との共同製作を通じ、日米の違いや共通点を学び、後継者の船大工や地元の若者との文化交流を目的とします。



造船見学会

2019年

2月5日(火)・6日(水)・7日(木)

10:00~15:00

会場/天竜舟下り市田造船所

※時間内いつでも見学可能です。

参加費
無料

天竜川和船文化保存会 シンポジウム

2019年 2月9日(土)

13:30~16:00 (開場13:00)

会場/飯田市人形劇場

裏面詳細

※事前のお申し込みは必要ありません。



主催 天竜川和船文化保存会

後援 飯田観光協会・飯田市教育委員会・高森町教育委員会・天龍峡温泉観光協会
南信州観光公社・信南交通株式会社地域観光事業部天竜舟下り・天龍ライン遊舟有限会社

お問い合わせ

天竜川和船文化保存会(信南交通株式会社地域観光事業部天竜舟下り) 担当:中

TEL 0265-24-3345 E-mail info@gokai-tenryu.com URL https://www.tenryu-wasen.com

この事業は「平成30年度地域発長野県元気づくり支援金」の助成を受けて運営しています。



天竜川和船文化保存会シンポジウム

2019年 **2月9日** (土)

13:30~16:00 (開場13:00)

会場 / 飯田市人形劇場

長年にわたる操船技術、造船技術などが認められ飯田市の民俗文化財に指定された天竜川の舟下り。

造船においては設計図やマニュアルは存在せず、少数の船大工へと代々引き継がれてきているものですが、後継者不足が懸念されています。今後学校教育、異文化など広く窓口を広めていくことが不可欠です。

和船船大工のアメリカ人ダグラス・ブルックス氏と共に、地域材を使った和船作りを地域の若者と行う事により、次世代に継承する造船技術や文化交流、また観光への発展性や、今期は根羽杉の地域材活用による地域活性化等、未来への可能性を様々な視点でディスカッションしたいと思います。

シンポジウムプログラム

第1部

- 13:30~ 開会挨拶
天竜川和船文化保存会会長
(信南交通(株)地域観光事業部天竜舟下り) 杉本 忠
- 13:35~ 基調講演「私が見た日本の和船文化」
ダグラス・ブルックス
- 14:20~ 休憩



和船船大工・アメリカ出身
ダグラス・ブルックス

第2部

- 14:30~ パネルディスカッション
「和船文化の現状と今後の展望
~今後船大工としての職業を継続させていく可能性は~」
- パネリスト
豊田知八 保津川遊船企業組合 代表理事
大塚清史 岐阜市歴史博物館 館長
下平博行 飯田市教育委員会 文化財保護係長
杉本 忠 天竜川和船文化保存会会長(信南交通(株)地域観光事業部天竜舟下り)
半崎信弘 天竜川和船文化保存会副会長(天龍ライン遊舟(有)代表取締役社長)
- コーディネーター
井上弘司 地域再生診療所
- 15:55 (予定) 閉会挨拶
天竜川和船文化保存会副会長
(天龍ライン遊舟(有)代表取締役社長) 半崎信弘